

(別紙様式)

都道府県番号	11
都道府県名	埼玉県

(  )

・学校名及び規模

小鹿野町立小鹿野中学校						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	7	18
児童数	110	112	111	3	336	

・実践研究の概要

<p>・主題(テーマ) 「学力向上を目指した学習指導の研究」</p> <p>・テーマ設定の趣旨 個に応じた指導の充実に努めることにより、基礎・基本を確実に身に付けさせ、それをもとに、自ら学び、心豊かに自分を表現する生徒の育成を目指す。</p>
---

・実践研究の内容について

( ) 研究体制の工夫

- ・ 研究推進委員会を核として、基礎学力研究部会、学習指導研究部会、評価・評定研究部会、中高一貫教育研究部会の4部会を構成し、研究内容を細かく分担し、明確化を図っている。

( ) 実践研究の内容

- ア 信頼性の高い評価規準の作成と評価計画表の完成
- イ 学力調査の結果や自己評価の継続指導による自主的な学習に取り組む態度の育成
- ウ 学力向上を目指した弾力的な教育課程の編成
- エ 表現力を高める学習指導の工夫

( ) 成果と課題

成 果

- ア 目標に準拠した評価に対する意義と重要性について、全職員の共通理解が得られると同時に、指導に生きる評価活動に努めることができるようになった。
- イ 日々の授業の評価の累積を学期末の評価・評定に結びつけられるようになった。
- ウ 理科・英語科等において生徒の自己評価と教科の特質を生かした習熟度別指導の工夫が進められた。
- エ 教育課程編成の全体構想の中で、総合的な学習の時間や選択教科の重要性が再認識され、位置付けについての検討ができた。

課 題

- ア 生徒の学習状況を適切に評価するための、学習過程における多様な評価方法の工夫
- イ 確かな学力の向上を目指す学習展開のさらなる工夫
- ウ 選択教科における補充的な学習と発展的な学習の内容の検討及び充実
- エ 少人数指導による習熟の程度に応じた学習、課題別学習等の工夫
- オ 豊かな心と表現力の育成を目指した総合的な学習の時間の実践研究
- カ 学力向上を目指した弾力的な教育課程の編成
- キ 家庭学習の習慣化を図るための指導の工夫

( ) 成果の普及方策

- ア 秩父地区学力向上研究協議会における発表
- イ 各教科ごとの研究協議会における授業公開及び発表
- ウ 教育課程地区研究協議会における提案者としての発表
- エ 指導方法の工夫・改善研究協議会での発表
- オ 小鹿野町教育研究冊子への研究内容の掲載
- カ 保護者への取組の説明と成果の発表
- キ ホームページの開設と研究概要の掲載